

2025年10月20日

第12回子ども・子育て支援等分科会

NPO法人子育てひろば全国連絡協議会

認定NPO法人ビーのビーの

理事長 奥山千鶴子

1. 令和8年度予算概要について

こどもや若者世代そして地域ぐるみでこども・若者を支援するために多様な事業が創設されていることは、これからの社会づくりにとって重要であり、是非予算を確保していただきたいと思っています。

一方で、相次いで創設される事業の関連性、また部局横断的な事業が含まれている中、実施主体である自治体の職員の皆様方にご理解いただくことが重要だと思われます。動画配信等の工夫もしてくださっていることと思いますが、よりきめ細やかな自治体支援が必要だと思います。

また市民団体は国の新たな事業に期待を寄せるとともに、わが自治体では取り組んでくれるのかといった心配の声も届いております。多様な事業の取り組みが全国に広がるよう、実施主体となりうる事業者への説明についても何らかの形で行っていただきたくお願い申し上げます。

2. 各事業に関わる人件費の保障、職員の処遇改善について

この10月から、最低賃金が大幅に上がりました。しかしながら、それぞれ子ども・若者支援、地域子育て支援に関わる事業については、当初予算より大幅に人件費があがったことで赤字決算が見込まれる事業者もあります。次年度予算に反映するだけでなく、年度途中の救済策等も今後ご検討いただきたいと思っています。

また、保育士等の処遇改善は言うまでもありませんが、加えて地域子育て支援、若者支援に関わる職員の処遇改善についても要望いたします。支援を行っている職員の雇用が安定的でないことが、担い手不足につながっています。

3. こども誰でも通園制度について

試行実施に取り組んでおりますが、こども、保護者・養育者双方にとって効果的な事業であると実感しています。次年度から本格実施にあたり、供給体制が十分整うのか心配な面があります。事業者が安心して取り組めるよう、さらなる公定価格の見直しを要望いたします。併せてこちらも早急な自治体支援、実施する保育者等への研修体制の構築が必要です。